

# 運営推進会議から 家族と職員の情報共有

## ～散歩マップが徘徊マップに ならないように～

社会福祉法人 長寿会

小規模多機能型居宅介護

あつとほ一む六尾の郷

主任 T

副主任 K

# 小規模多機能型居宅介護 あつとほ一む六尾の郷

## 概要

平成21年9月 開設

登録定員	25名
通い	15名
泊まり	9名



# 『うちは大丈夫！！』と危機感がなかった！

## 家族は、徘徊について心配はしていなかった！！

あつとほーむ六尾の郷 2016年12月現在

徘徊リスクの高い利用者

登録者数 11名/20名中

危機感のない家族 5名/11名中

徘徊リスクを自覚していない家族は半数！！

## <事例1> ご近所の友達同士で利用しているA様とB様

A様 90歳 女性 要介護3 通い週5日 泊週1日 認知症

B様 85歳 女性 要介護2 通い週5日 泊週4日 認知症

ある日、利用者2人が手を繋ぎ道路の真ん中を、自宅とは反対方向に歩いていた！！

送迎時、偶然通りかかったスタッフ

スタッフ . . . 『どこに行くの?』 →

A様、B様 . . . 『家に帰るんや』



サンダル履きで靴ではない！！『危ない！車にひかれる！』

『迷子になっている！』と直感し、スタッフは自宅へ送り届ける！

## <事例2> 利用日でない日も自宅付近で待っているC様

C様 78歳 女性 要介護3 通い週5日 認知症

送迎時、偶然通りかかったスタッフ

スタッフ・・・『どうしたの？今日は休みよ』 →

C様・・・『わかってるよ！』



家族に  
相談

『わかってる？』・・・本当に理解している？？？  
わかっていないけど、わからないと言えない利用者・・・  
心配したスタッフは自宅へ送り届ける

**心配していた事が  
的中した！！**

**ある日、C様の夫より電話が入る**

**『妻が散歩から帰って来ない！』**

**『一緒に探してほしい！』**

私達は探しに出るが、どこを探して良いかわからず



**C様の行動範囲がわからなかった**

# 夫からの情報

妻と天気の良い日は散歩する事があり時々二人でお寺に出掛けられることがあると・・・

『夫を探しにお寺へ行かれたのでは?』

お寺の近辺を探すことに・・・



知人より連絡が入り無事発見！！

偶然、知人がお寺の近くで声をかけ

『何かおかしい・・・』と思い夫に連絡

**行方不明 1 時間後に早期発見できた**

**C様の行動は『散歩？』『徘徊？』**

**その違いは？？？**

**C様や、徘徊リスクの高い利用者の生活圏域や  
行動範囲を知りたい！**

**利用者の生活行動範囲を家族・スタッフ間で  
共有できないか？**

# 地域で見守りをお願いできないか？

地域包括支援センターが実施している『**地区ケア会議**』で相談しよう！！

地域密着型として地域住民と『**顔馴染み**』になりたい！！

**地域の方と情報共有し認知症利用者の見守りをお願いしたい！！**



家族の了解を得て

地区ケア会議の参加メンバーである相談協力委員（民生委員、地区福祉委員、老人クラブ会長、区長、シルバー人材派遣）等の協力を得て、**地域での見守り**をお願いする

# 地区ケア会議への参加

地域住民主体の、地区ケア会議（月1回開催）に参加ができた！！

＜この時の地区ケア会議でのテーマー＞

地区ケア会議では住宅地図を拡大してグループワーク！！

- ・ 地域の困難事例の発掘
- ・ 認知症高齢者の早期発見 等



住宅地図を拡大する事で地域のつながりが見えた！！

ヒラメキ！！

- ① 住宅地図を活用し利用者の『散歩』コースを知ろう！！
- ② 家族との交流がある運営推進会議を活用しよう！

# 運営推進会議でマップ作成！！

C様家族を含め徘徊リスクの高い利用者家族を中心に呼びかけた！！

**家族も関心があり参加人数多数！！**

住宅地図を拡大し、家族に情報提供をしてもらい  
自宅を中心とした生活行動マップを  
家族と一緒に作成！

登録者20名中、8名の利用者の  
生活行動がわかった



# C様のマップ作りから見えてきたもの

- ① 地域住民は、C様が昔から毎日のように散歩していたので**徘徊とは疑わなかった**
- ② 家族は遅くなくても散歩から帰ってくるので**徘徊とは疑わなかった**

行政職員（泉南市長寿社会推進課） ・ 地域包括支援センター  
地域の見守りネットワーク代表の出席の中  
**地域密着型事業所としての地域との連携も図れた**

# マップ作りで徘徊リスクの高い利用者家族からの 情報を得た内容

- ★ 地域住民に認知症である事を知られたくない気持ち
- ★ 昔馴染みのお店の利用
- ★ メインストリートではなくあぜ道やデコボコ道、裏道を利用
- ★ 家族とケンカした時の行動
  - ・ 2kmも離れた場所を歩行器で行かれていた
  - ・ 自宅の裏口を使い知人の家に行かれていた
- ★ 交通量の多い国道を渡り散歩とは反対方向を頻繁に利用
- ★ 家族に気づかれないように外出する（不在時に外出）
- ★ 家族は就労しており行動が全くわからない



**行動範囲が広く危険な場所が多いとわかる！**

# 見守りネットワーク（地域住民）の意識が 変わった！

## （会議前）

『あの方は認知症やったん？』  
『プライバシーがあるから聞けなかった』  
『散歩しているの？？？』  
『それって徘徊なの？？？』

## （会議後）

『この人達のことのがわかったわ  
迷子になってるかもしれないのね』  
『私達も気にかけて声をかけるわ』  
『地域住民で見守っていきましょう』

家族は認知症の偏見や差別が怖くて**本当のことが地域住民に  
言えなかった**  
気になっていただけ『徘徊ではなく散歩だから大丈夫』と  
**思ったかった**

# マップ作りに参加した家族からの声

## 【楽観的な家族】

『帰ってくるので大丈夫』 → 認知症の知識が乏しい

## 【危機感がある家族】

① 『うちは大丈夫』 ⇒ 玄関は二重ロックし門はチェーンロック  
(身体拘束・心理的虐待)

② 『怒らせない様に気を使って話しています』 ⇒ 家族の精神的負担が大きい

## 【プライドがある家族】

『心配だけど、大丈夫』 ⇒ 誰にも相談せずに抱え込み近所の目を気にする

家族はさまざまな想いや事情があり  
現実に向き合えず、対応がさまざま・・・  
家族によって温度差がある

# 私達は伝えきれなかった・・・

何度も危険であることを家族に伝えても『**うちは大丈夫**』

徘徊者の行方不明の例を話をして

『**まだ大丈夫！！うちに限って**』

『**まさか家に帰れなくなるなんて・・・**』と思われている



実際に起らないとわからない**徘徊の怖さ！！**

発見が遅れることで**命**に関わってしまう事も・・・

# 私達の反省

小規模多機能を利用し、より密なサービスを提供しているにも関わらず・・・

- ・ **利用者のことを知らなかった**

- ① **本人の行動範囲**

- ② **なぜ散歩（外出）するのか？**

- ・ **家族の悩み、家族が認知症への正しい理解をしていない事に気付かなかった**



家族の気持ちに寄り添えていなかったので

**危機感が伝わらなかった**

**認知症の方が自宅で生活するには・・・**

**家族や私達専門職だけでは限界がある**



**地域住民の声掛けや見守りが重要！！**

**その人の行動範囲を知る事や地域が認知症を  
理解してくれる事で安心して在宅生活が継続できる！！**

**住み慣れた自宅で生活する為、周囲のサポートと  
認知症への正しい知識と理解**

# 散歩マップの情報は・・・

8名の利用者の家族と一緒に作成した散歩マップ（生活行動マップ）を  
情報として個人ファイルにファイリング行う



- ① いつでも持ち出して探しやすいように保管する
- ② 散歩ルートが変わることで、『もしかしたら徘徊かも？』と  
いつもと違うサインを見逃さない！
- ③ スタッフの徘徊リスクへの意識改革
- ④ 高齢者の散歩=徘徊にならないように通勤時、送迎時など  
日常的に意識する

# 泉南市の徘徊 SOS ネットワーク登録拒否

家族に登録を勧めるも『**また、そのうちに登録します**』と拒否



『**プライバシーを知られたくない**』と思う家族の気持ち

**私達ができる事は？**

私達が家族や地域住民とネットワーク作りをすることも  
**早期発見の一つ！！**

# 生活行動マップ作成後、徘徊されて

## 行方不明になった利用者は？

現在、ファイリングされた生活行動マップを  
必要とする利用者はいませんが、利用者、家族  
私達のお守りとして保管し、地域の見守りの中  
いつでも活用できるように常に更新しています

# まとめ

地域包括支援センターが運営している**地区ケア会議へ参加**した事で  
**私達の地域密着型の運営推進会議**で、家族・スタッフ・地域住民と一緒に  
徘徊マップを作成することができた！！

私達も地域住民の役に立ちたい！！

送迎時、通勤時に声をかけられるように、気かけながら  
地域住民の見守りをしたい！！

**地域を知る為にも、現在もこの地区ケア会議には必ず参加しています**

**散歩マップが徘徊マップにならないように！**

ご清聴ありがとうございました

